

平成27年度総会

ユネスコ活動の原点にかえり、問題意識をもち次代を担う人材の育成に努力を...

（於）蓮田市図書館視聴覚ホール
4月25日土曜日開催

平成27年度総会が開催され総数65名に対して（委任状を含む）43名の出席があり、総会は成立。総会司会は半田さん、江口さんが議長に選出、議事が進行。冒頭の言葉にある会長方針説明・挨拶に続き平成26年度事業報告・決算、27年度予算案等、1号議案から5号議案まで、審議され、質疑応答の後、提案通り承認されました。役員構成は以下の通りとなりました。

理事

- 田村勝彦 会長
- 飯島 剛 副会長
- 小野寺貞幸 事務局局長
- 半田雄司 事務局
- 江口 保 事務局
- 雲見昌弘 事務局
- 平賀栄美子 事務局
- 斎藤恵美子 監査

委員嘱され、会計担当平賀さん・文化遺産めぐり江口さん、地域文化遺産スタデイ・書き損じハガキ主担は飯島さん、国際文化スタデイは雲見さん、監事は斎藤さん留任、半田さんは事務局理事となりました。今後理事は一致協力、相互補充しながら運営に当たりますので宜しくお願い申し上げます。引き続き、同会場ですり屋講座が開催されました。詳細は別記ご覧下さい。（飯島記）



総会・会場内

寺子屋講座

「ESDユネスコスクールを学ぶ」その2



蓮田中学校

を受け、この地域で初めてのユネスコスクールが誕生しました。これを受けて「ESD/ユネスコスクールを学ぶ」その2の勉強会を開催。講師は第1回目と同じ、日本ユネスコ協会連盟の尼子美博様です。

切であるとの指摘がありました。スクールと協会は、win/winの関係で進展していくことが大原則であり、また、地域のいろいろなグループの活動と連携し、協働していくことが必要であるとの示唆も戴きました。日本ユネスコ協会連盟のESDプログラムも紹介され、今後の活動に多くのヒントを戴きました。

伊奈町国際学院中学校 高等学校副校長 大野満奈 様
国際学院高等学校 教諭 中野雅也 様
協会会員 12名 (半田記)

蓮田中央小学校



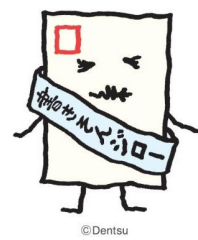
蓮田中央小学校

先ずは、嬉しいニュースです。この度蓮田中、蓮田中央小の2校が認定

本日テーマに相応しい方々をお招きし、この地域に誕生した当該校と当協会がどのように関わっていかば良いかが勉強会の大きなポイントです。ユネスコスクールはESDの推進拠点です。これについては「ユネスコ協会ESD.パスポート」の有効活用が勧められ、それを通じ「ボランティア活動」の意義を学び、持続可能な社会づくりの人材育成に取組んで欲しいとの要請がありました。

我々、民間ユネスコ協会には、社会・地域の課題に対して何が出来るかを謙虚に見つめることが大

今回は原稿を賛助会員・石崎光夫さん、会員・谷美恵子さん、校正を向山裕規さんにご協力戴きました。今後も会員皆様の投稿や編集のご協力をお願い申し上げます (小野寺記)



編集後記

きずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

第11回 地域文化遺産スタデイ

わが町を知ろう!!!

戦国の蓮田・白岡と騎西城 中世の蓮田・白岡(II)



島村さん(講師) 田中さん(講師) 中野蓮田市長 田村会長 小島白岡市長

平成27年2月22日(日)午後2時から白岡市「はびすしらおか」において、地域文化スタデイ「わが町を知ろう」第11回講演会「戦国の蓮田・白岡と騎西城」を開催いたしました。



会場内

講師は、蓮田市社会教育委員会・文化財担当の田中和之さんと、加須市教育委員会・文化財保護担当の嶋村英之さんをお迎えしました。当日は厳しい寒さにも関わらず参

加者は140名余の多くを数える大盛況となりました。また、お忙しい中、蓮田市長・中野和信さん、白岡市長・小島卓さんのご出席とご挨拶もいただきました。まずは田中和之さんから『文字資料と発掘成果等から見える蓮田・白岡域の中世』と題して、当日配布された資料をもとに古文書や古地図から見える当時の蓮田・白岡地域の動向、多くの河川とその流域に広がる神社群図からは当時の活気ある物資の流通・人の往来、武蔵七党など各武士団の戦国時代を迎えるまでの状況説明がありました。



はびすしらおか 22日 白岡市千駄野

（国連・ユネスコ創立70周年、日韓外交正常化50周年 に因んで）
講師 金 裕鴻 (キム・ユ・ホン)さん
（キム・ユ・ホン）さん
元NHK国際局アナウンサー・NHK(韓国語)ラジオリポーター・講師 佐藤 家・ジャーナリスト・政治家など各方面に多数の教え子を持つ著書多数・ス界における第一人者。現在、NHK文化センター朝日カルチャーセンターでハングルを教える。講師は長年にわたりN

予告

第9回 国際文化スタデイ

平成27年7月25日 午後2時~4時
会場 はびすしらおか

特に白岡市入耕地遺跡の発掘を例として発掘調査の成果を詳しく講演していただきました。次いで「騎西城」について嶋村英之さんから、豊富な図や写真を用いて、騎西城遺跡の位置・範囲、周辺の地形、発掘により出土した兜、槍、矢じり、馬甲、腰刀や金

貨等の遺物の説明がありました。これらからも騎西城は多大な労力と工夫によって戦に備えた城であった事が判明できました。特に騎西城は沼地の中に建てられた平城であったため、障子堀という特異な工法で敵の侵入を防いでいたことなどの説明がなされ、参加者の大

きな関心をよびました。講演後、質疑応答に移りましたが、やはり参加者から障子堀についてのさまざまな質問がなされました。地元テレビ局(JCOM)の取材があり、後日プライムニュースの中で放映されました。(谷美恵子記)

第9回 国際文化スタデイ
韓国語はじめての一步まえ
国連・ユネスコ創立70周年・日韓外交正常化50周年に因んで
伝説のカリスマ・元NHK国際局アナウンサー 金 裕鴻先生 (キム・ユホン)が語る日韓の心を伝え続けて60年
【お互いの文化の違いを知り認め合うことの大切さ】

講師 金 裕鴻さん (キム・ユホン)
日時: 2015年7月26日(日) 14:00~16:00
場所: 白岡市「はびすしらおか」市役所隣接
参加費: 会員・学生 無料/一般 300円

主催: 蓮田・白岡地方ユネスコ協会
後援: 蓮田市教育委員会、白岡市教育委員会、(公社)日本ユネスコ協会連盟
問合せ先 蓮田・白岡地方ユネスコ協会 事務局 田村勝彦 TEL 048-768-8300
URL: http://www.unesco.or.jp/hissoc-shi-rakko

第71回日本ユネスコ活動全国大会

6月6・7日 和歌山市民会館で開催

イン和歌山・報告

若浦に、塩満ちくれば 鴻を無み、葦辺をさして 鶴鳴きわたる (山部赤人)・と・万葉歌人が謳った、此処、和歌山で「持続可能な平和のために会話を広げるユネスコ」をテーマに全国大会が開催された。初日は、伏虎中学校の演奏で幕を開け和歌山ユ協、芝本会長の挨拶、連盟松田会長、文科省・山脇国際統括官、外務省国際協力文化室・高橋室長、県知事、他来賓挨拶が続く。日中韓の厳しい関係の中、太平洋ユ協クラブ連盟名誉会長兼中国ユ協・陶会長、韓国ユ協・李名誉会長の祝辞が続く。基調講演は松本零士氏(宇宙戦艦ヤマトの作者・宇宙少年団理事長)が講師。「宇宙と子供と平和」と題して戦時下で生まれ育った時の自然との共生や、自然観、人生観を語り、今日に至るまでの経験を語る。そして「現在、世界中で人間が争っている場合では無いぞ。そんな暇があったら宇宙へ行き色々な資源を獲得する方法を考えるべき、争いはや



全国大会会場前・田村会長

めて未来の為に手を取り合ひましよう」と結んだ。次のパネルディスカッションはESDに焦点を当てた発表があった。専門家が現在の取組を紹介。次に子供たちによるESD事例「未来遺産ピオトープ孟子」の発表があった。初日最後はホテルでのレセプション開催、約40名を越す出席者に、地元「りら創造芸術学生による歌と踊り」で会場を盛り上げ、心なませ、参加者が、旧交を温めあったり新たな出会いも図られた。

大会第2日は9時から和歌山大学助教授・サイモン氏の「和歌山の伝統文化・伝統の太地」と題して次回開催地、沖縄のユ協から2015年6月25・26日開催案内と呼び掛けがあった。最後は高垣実行委員長が大会宣言「平和の推進・環境保護・文化の伝承や相互理解をはかるため地域と世界中の人々との会話を広げる方針」が説明され全会一致で採択し閉幕。大会運営も、内容も素晴らしい、見送る人達には感謝と称賛の声が溢れていた。和歌山ユ協関係者皆様の熱い思いが心地よく伝わった一日間であった。(田村記)

第13回文化遺産めぐり

東京都文京区 鳩山邸・見学

5月23日(日)晴天に恵まれ、14名の参加者にて東京文京区「鳩山会館」への見学になりました。

JR池袋線由メトロ有楽町護国寺下車約10分、蓮田・白岡より約1時間少々にて目的地に到着しました。

戦後の日本政治の中心として四代にわたり国会議員として活躍された鳩山和夫氏(1856年〜1911年)元衆議院議長、妻春子さんは共立女子学園理事長創始者のお一人、長男鳩山一郎氏(1853年〜1959年)

元自由民主党初代総裁・内閣総理大臣、妻薫さんは、元共立女子学園理事長、長男鳩山威一郎氏(1818年〜1993年)元外務大臣、妻安子さんはブリジストン創始者・石橋正二郎の長女、日本友愛協会



鳩山邸・文化遺産めぐり参加者

会員紹介

杉原 茂 (すぎはら しげる)



写真映りがよくないの で、漫画にて失礼させていただきます。

① 私の出身地は、東京都文京区にある小石川植物園・六義園・巢鴨のお地藏さまの中間に位置します。小石川植物園は赤ひげ、六義園は柳川吉保がその別邸に造った江戸時代の名園、お地藏さまは、おばあちゃんの原宿で有名になっています。

② 生まれは東京でも三代続いた訳でないの で残念ながら江戸っ子の

①出身地
②今までの歩み
③ユネスコ活動について (敬称は省略しています)

ではありません。若い頃(学生時代)に柔道に励んでおり、後輩には有名な選手もおります。ただし私の時代には強い学校ではありませんでした。しかし今は強い部類に入る学校になっていきます。

学校を卒業後、福島県いわき市小名浜・香川県の瀬戸内海にある直島・秋田県秋田市御所野と点々と転任し、約二十年まえに家族で居住することになり現在に至っております。

③ 独り暮らし高齢者等見守り事業・見守り協力員連絡会で平賀理事にお会いして、本活動に興味を持ち何かお役にたてたいと考え入会させて頂きました。活動にはまだ力不足ですが宜しくお願いいたします。

金井 功 (かない いさお)



① 金井 功 栃木県佐野市
② 渡良瀬川は北関東を流れる利根川の流れて、子供の頃は川遊び、魚釣りなど5人兄弟で育ちました。

物のない時代、農家をしていましたのでお米、野菜など食べることは不自由なく育ちました。70才になりました。今は家族の健康を守る食を自然農法で作ります。シルバー人材センターで、植木の剪定の仕事にと頑張ってます。入会しましたが、何が出来るかわかりませんがよろしく申し上げます。

特別寄稿

「今振り返る、途上国づくり33年の思い」

石崎光夫(賛助会員)

学生のころから国際問題に関心を抱き、田村会長とは偶然大学が一緒で、ともにクラブ活動では国際関係研究部に籍を置きながら在学4年間で楽しく過ごした間柄です。

卒業後、私は学生のころから関心のあった国際協力の仕事に魅力を感じ、技術協力の実施機関である海外技術協力事業団(現JICA「国際協力機構」の前身)に入りました。当時、日本の開発援助はまだ歴史が浅く、援助供与国というよりは、援助受取国の要素が勝っていたように私は思っています。海外から受入れる技術研修員の往復航空賃や滞在費はアメリカや国連が負担し、日本は講師謝金や通訳謝金、国内研修旅費など主に国内研修経費を負担するなど、経費を折半していたからです。

また、当時日本は世銀から8億6000万ドル(現在の貨幣価値に換算して約6兆円)もの巨額の融資を受け、インドに次ぐ2番手の大口の借り手でした。借りましたお金は、東海道新幹線や名神高速道路はじめ黒四ダムなど34項目にもおよぶインフラ建設の資金に充てられ、日本の戦後の高度経済発展の礎を築くことに貢献したのです。

さて、JICAで過ごした30余年を振り返ると、「毎日」ときめききと「興奮」の連続だった気がします。仕事の中心が開発途上国の「人作り」で、「人間が相手」の事業であったことと関係があるのかも知れません。



Pro. Truong夫妻迎えての歓迎会 ~40年ぶりの再会に胸を熱くする~

この仕事に就いて最初の海外勤務はベトナムの医療協力プロジェクトのコーディネーターの仕事でした。ベトナム戦争との係りです。

また、昨年6月、嘗てベトナム在勤中、農業分野の人材育成プロジェクトのため一緒に仕事をしたベトナム国カントウ大学元農学部長Truong教授が、夫人同伴で京都に私を訪ね、驚かせました。彼は、帰国して40年たった現在も続いております。

「ベトナム」が出たところで最後にもう一つ。一昨年9月、日越国交40周年を記念して、「日越友好列車」に乗ってハノイからサイゴンまで1,700キロを二泊三日間一人旅してきました。滞在中、ここかしこでベトナム人の古き良き仲間に出会いました。至福のひと時をすごしました。このときの模様を「爺のベトナムひとり旅」1,700キロの鉄路に夢乗せて」と題した小冊子に書かせてもらいました。ご関心の向きは田村会長にお問い合わせください。

わせくください。田村会長の「韓国」に寄せる情熱には遠く及びませんが、私のベトナムに対する関心も兎角尋常でないことだけは確かかなようです。

略 歴
元コロンボプラン事務局 長補佐・JICA秘書室 長・東京国際研修センター所長など歴任
現 在
民謡江差追分会 京都竹 鷗会会長・相馬民謡近畿 地区代表・詩吟国風流京都吟詠会所属
京都市在住
南相馬市出身